

粟本地区まちづくり計画(案)



粟本地区まちづくり協議会

粟本地区まちづくり計画(案)

1 計画の目的と背景

少子高齢化の進展、市民ニーズの多様化、地域コミュニティの希薄化等、社会環境が大きく変化する中、私たちが住んでいる粟本地区が活気あふれるまちとして、次世代へと引き継がれ、さらに住みよい地域を創造していくために、あるべき地域の将来像を描き、その将来像の実現に向かって自らが取り組むべき活動の方針、内容などを定めた計画を策定します。

2 計画の進め方

誰もが安全で安心して住みたくなるまちの実現に向けて、具体的に取り組む事業を盛り込んだ5年間の中期計画を策定し、その計画に基づいて単年度事業を実施することとします。

その推進に当たっては、区長会、それぞれの専門部会、企画委員のメンバーによる理事会を開催し、粟本地区全体の課題を検討、解決に導きたいと考えます。

また、計画期間満了時に計画そのものの評価を行い、新たな地域課題の抽出も含め、次の計画に反映させます。

3 計画期間

本計画の期間は、平成28年度から平成32年度の5年間とします。

4 住民が考える主な地域の課題

平成27年6月の住民アンケート結果を基にしています。

- ・意識、コミュニケーション不足、独居老人が増えている。
- ・地区活動に若い人があまり参加しない。

5 将来像と目標

◇将来像：

—住んでいて良かったと思える粟本地区—

住民同士の支え合いと役立ち合いによる、優しさ溢れる地域の実現を目指します。

◇分野別の主要目標：

- | | |
|-------------|-----------------------------|
| [環境美化] | ゆたかな自然とゆたかな心でつながるまち粟本 |
| [安 全] | 大人から子どもまでゆずりあいと思いやりに溢れるまち粟本 |
| [高齢者・健康] | みんな健康で過ごす明るいまち粟本 |
| [地域活性化] | みんなで造ろう笑顔溢れる住んで良かった我がまち粟本 |
| [子ども・子育て支援] | みんなで子育て明るいあいさつの響くまち粟本 |
| [教 育] | みんなでふれあい楽しく学びあうまち粟本 |

【環境美化】

◆課題

・清掃、草刈不足 ・意識、コミュニケーション不足



・ハード 道路、側溝が傷んでいる。防犯灯が少ない。遊具が少ない。

◆ビジョン ゆたかな自然とゆたかな心でつながるまち

・こどもが遊べる場所がある・自然豊かで集まれる場所がある

・みんなが話し合える場所がある。



◆具体的活動

①環境パトロール ②こどもの環境観察講座 ③地区全体で草刈

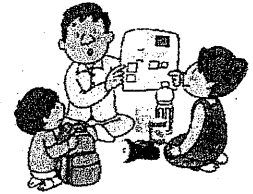
④子どもとふれあうイベント ⑤ペットのマナー講座 ⑥耕作放棄地

⑦ハード事業 環境パトロールでとりあげた箇所を必要に応じ地区要望

◆年度別事業計画

事業名	説明	H28	H29	H30	H31	H32
環境パトロール	地区内のパトロール活動や不法投棄の取り締まり	具体策づくり	→			
イペの森づくり	イペの森の整備（草刈りや鳥獣対策）を行いみんなの憩いの場づくり	実施	→			
ペットのマナー講座	糞の始末など、飼い方マナー向上の啓発	具体策づくり	→			
環境講座	環境講座を実施し、環境意識を向上させる。	具体策づくり	→			
耕作放棄地 空き家の環境対策	耕作放棄地や空き家の環境問題について考える。	具体策づくり	→			

【安全】



◆課題

- ・意識不足・消防団のなり手が少ない・防災訓練のマンネリ化
- ・イノシシ問題・ハード面では路側帯が少ない 通学路の整備

◆ビジョン 大人から子どもまでゆずりあいと思いやりに溢れるまち

- ・避難準備がしっかりとされている・見守り活動が充実している
- ・高齢者の安全対策が充実している・イノシシが近寄らない

◆具体的活動

- ①ハザードマップの作成 ②見守り活動 ③交通安全の啓発
④防災の強化 ⑤ハード面は必要に応じて地区要望



◆年度別事業計画

事業名	説明	H28	H29	H30	H31	H32
ハザードマップの作成	地区内の危険箇所やAEDの設置場所を調査、見える化する。	具体策づくり	実施	→		
見守り活動	登下校時の子どもの見守り活動をウォーキングやあいさつ運動と共に行う。	具体策づくり	実施	→		
交通安全の啓発	企業従業員や老人に、交通安全のルールを守りマナーを高める啓発を行い、事故撲滅を図る。	具体策づくり	実施	→		
防災の強化	我が家の安全確認や、宿泊型の訓練を行い防災訓練を強化する。	具体策づくり	実施	→		

【高齢者・健康】

- ◆課題
 - ・活動が行われていることを知らない人がいる
 - ・人集めが大変
 - ・シニアクラブの参加者が少ない
 - ・独居老人が増えている
 - ・老人の居場所がない
 - ・老人の引きこもり



◆ビジョン みんな健康で過ごす明るいまち

- ・みんなに情報が伝わっている
- ・体を動かす環境が整っている
- ・役員の負担が軽い
- ・お互いに協力しあう
- ・声かけが行われている

◆具体的活動 ①無理なく楽しい運動メニューの企画 ②日本一のラジオ体操

③みんなでウォーキング ④高齢者への見守り



→世代間交流 みんなができることを手伝う 地区と小学生がタイアップ

◆年度別事業計画

事業名	説明	H28	H29	H30	H31	H32
無理なく楽しい運動	ニュースポーツやグランドゴルフなどスポーツの普及、みんなができる健康講座を開催し、丈夫な身体づくりを目指す	実施	→			
日本一のラジオ体操	健康日本一を目指す掛川らしい日本一のラジオ体操を目指す	実施	→			
みんなでウォーキング	地域でウォーキングコースをつくり、達成書を配布したり、看板をつくったり達成感をもたせる工夫をして、ウォーキングを普及する	具体策づくり	実施	→		
高齢者対策	葛ヶ丘のような高齢者見守り活動を他地区に波及できないか検討する	具体策づくり	→			

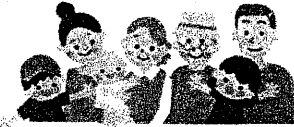
【地域活性化】



- ◆課題
- ・若い人に回覧を見ない人が多い
 - ・核世帯化
 - ・考え方の違い
 - ・地区活動に若い人があまり参加しない
 - ・人間関係の希薄化
 - ・一部の人で決めてしまっている
 - ・イベントの参加しやすさ

◆ビジョン みんなで造ろう笑顔溢れる住んで良かった我がまち

- ・交流の場がある
- ・みんなが地区の情報を知っている
- ・協力関係が築けている



- ◆具体的活動
- ①あいさつ運動
 - ②野菜販売
 - ③イベントの人集めの工夫
 - ④地域の人材発掘事業
 - ⑤憩いの場づくり事業

◆年度別事業計画

事業名	説明	H28	H29	H30	H31	H32
あいさつ運動	あいさつを通じて、信頼関係を深める。	具体策づくり	実施	→		
野菜販売	地区内で生産している野菜をセンター祭りを利用したり、軽トラ市や朝市を行って販売する。	具体策づくり	実施	→		
イベントの参加率を高める事業の検討	みんなが参加したくなるようなイベントについて企画検討をする。	具体策づくり	→			
地域の人材発掘事業	地域の中で、得意分野を持った人を集めリスト化し、講座を開催してもらったりする。	具体策づくり	→			
憩いの場づくり事業	公民館や空き家を利用して、みんなが気軽に寄れる場所をつくる。	具体策づくり	→	実施	→	

【子ども・子育て支援】

◆課題

- ・子どもの遊び場が少ない ・交流が足りない
- ・時間の制約 習い事等で子どもに時間がない

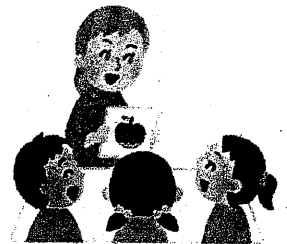
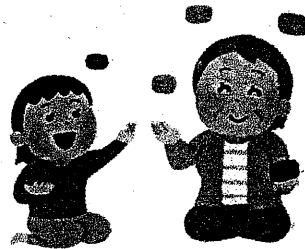


◆ビジョン みんなで子育て 明るいあいさつの響くまち

◆具体的活動

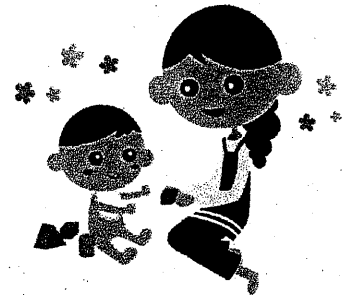
①大人と子供の交流事業

- ・子どもたちが地域に関わる
- ・シニアから昔の遊びを学ぶ



②習い事

子どもから大人までみんなが関われるもの



③母親支援事業

◆年度別事業計画

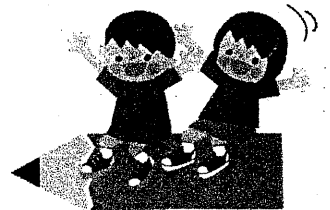
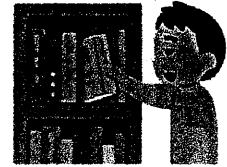
事業名	説明	H28	H29	H30	H31	H32
母親支援事業	お母さんたちのしゃべり場を設けてネットワークを拡げる	具体策づくり	実施	→		

【教育】

- ◆課題
- ・サークル活動が少ない
 - ・粟本地区の共通の場がない
 - ・学校の活動状況が結果報告しかない

◆ビジョン みんなでふれあい 楽しく学びあうまち

- ・文化の継承がしっかりと行われている
- ・世代間交流が行われている
- ・みんなが読みたくなるような広報誌を発行する



◆具体的活動

①サークル活動の拡充 ②世代間交流事業 ③広報誌の発行

◆年度別事業計画

事業名	説明	H28	H29	H30	H31	H32
サークル活動の拡充	サークル活動を充実させ、サークル活動が盛んな地区を目指す	具体策づくり	実施	→		
世代間交流事業	シニア世代の方から、歴史や昔の遊びなどを学びながら、世代間の交流を深める	具体策づくり	実施	→		
広報の発行	センターと福祉協議会の広報を一本化し、読者を引きつけるような広報を発行する	実施	→			